

大安場史跡公園から

大善寺遺跡群は、当園の南方に位置します。正門を背に左に折れ、交通量の多い道路(市道笹川大善寺線)を横断します。真っすぐに緩やかな坂を上ると大善寺地区の入り口です。道は二又になっているので、左方向に進んでみましょう。自動車に気を付けながら、見通しの悪いS字カーブを登っていくと、広大な農地が眼前に広がります。晴れていれば、空高く雲雀がさえずっているでしょう。丘の上まで真っすぐに進み、背後を振り返れば、大善寺遺跡群と、そして右手奥に大安場1号墳が荘厳に見えます。

大安場の周辺には、このほかにも遺跡がありますので、機会があったらぜひご紹介したいと思います。



大安場史跡公園と大善寺遺跡群の位置図
(国土地理院5万分の1地形図を加工したもので、台帳No.は福島県教育委員会のものと一致)

台帳No.	遺跡名	所在地	種別	時期	遺構・遺物	調査
①	西館跡	田村町大善寺字館	城館跡	中世		
②	羽黒堂塚	田村町大善寺字羽黒堂	塚	記述なし	土師器	
③	下田遺跡	田村町小川字下田	散布地	奈良・平安	土師器片	
④	枇杷沢 A 遺跡	田村町山中字枇杷沢	散布地	縄文～平安	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器	
⑤	東館跡	田村町大善寺字上野	城館跡	中世		
⑥	大善寺古墳群	田村町大善寺字上野・上石切場	古墳	古墳	土師器	昭56・平26・令4
⑦	山中日照田遺跡	田村町山中字山中田	古墳、散布地	弥生～平安	方形周溝墓(小型)、円形墓、大型方形墓、竪穴住居跡 土師器、須恵器、弥生土器	昭56
⑧	鍛夷穴横穴墓群	田村町小川字下田	古墳	古墳	たち 鉄製大刀・鉄製刀子・つば 鉄製鐔・鉄鎌・ガラス小玉	平13
⑨	上野遺跡	田村町山中字上野・小川字上野	散布地	古墳～平安		昭56
⑩	中山田古墳群	田村町大善寺字中山田	古墳	古墳	住居・土師器	

福島県教育委員会「福島県埋蔵文化財分布図 福島県埋蔵文化財一覧」より

今後も楽しくて、面白いイベントを予定していますので、ぜひ大安場史跡公園にお越しください!

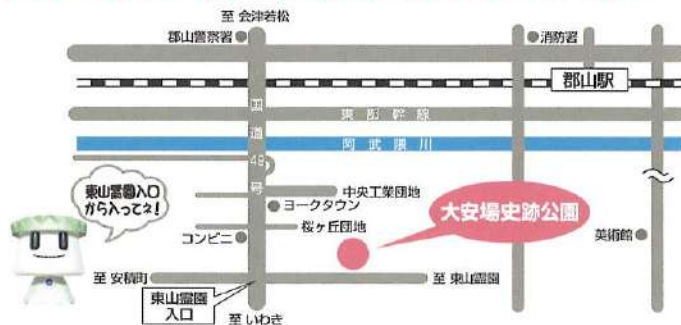
大安場史跡公園

(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

住所:福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地
電話:024-965-1088 FAX:024-965-1090
Mail:oyasuba@bunka-manabi.or.jp
休館日:月曜日(月曜日が祝日の時はその翌日)
※公園は年中無休です。

ウェブサイトもチェック!

大安場史跡公園 検索



vol. 63 大安場史跡公園 まるさんかくしかく

おおやすばしせきこうえん

タイトルはまるい石鉏、さんかくは古墳の前方部、しかくは後方を表現しています。

新しい年になりましたが、みなさんはいかがお過ごしでしょうか。今年も大安場史跡公園では多彩な催しものを用意して、スタッフ一同みなさまをお待ちしております。さて、当園は市内でも遺跡の多い田村町に立地します。今回は、周辺の遺跡について少しご紹介いたします。



だいぜんじ 大善寺地区遺跡群

所在地:田村町大善寺ほか
調査主体:郡山市教育委員会
調査年:昭和56年7月～12月
調査面積:約27,000㎡
調査原因:農地整備事業
調査年代:古墳～平安
主な遺構:竪穴住居跡・掘立柱建物跡・土坑・方形周溝墓・古墳ほか

大善寺地区遺跡群は郡山市田村町大善寺に位置し、大安場史跡公園から歩いて20分程の場所にあり、遺跡の範囲は、約45.7万㎡と広大で、中には大善寺古墳群・山中日照田遺跡・上野遺跡・西館跡・東館跡・羽黒堂塚があり、現況は農地の中に住宅が点在しています。

農地整備事業に伴う昭和56年の発掘調査では、古墳時代(177棟)や平安時代(22棟)の集落跡をはじめ、古墳が発見されました。



大善寺地区遺跡群範囲図
(国土地理院5万分の1地形図を加工)

大善寺地区遺跡群の現況(東側より)



大善寺古墳群 2号墳



所在地：田村町大善寺字上野

調査主体：郡山市教育委員会

調査年：平成26年1月

主な遺構：溝跡(周溝)

調査面積：約21㎡

調査原因：試掘(確認調査)

主な時代：古墳(5世紀後半)

大善寺地区にある神明宮の境内に位置し、平成26年の試掘調査では、対象とした約21㎡の範囲から古墳の周溝を検出し、埴輪片を主とする土器が238点出土しました。

中には遺存状態の良い円筒埴輪が見られ、その特徴から、5世紀後半の年代が考えられます。



調査前の大善寺2号墳(南側より)



調査中の大善寺2号墳(南側より)



大善寺2号墳調査状況(南側より)



大善寺2号墳遺物出土状況(東側より)
遺存状態の良い貴重な円筒埴輪の資料です。



大善寺古墳群 8号墳



所在地：田村町大善寺字上石切場

調査主体：郡山市教育委員会

調査年：令和4年4月11～13日

主な遺構：墓坑・周溝

調査面積：約25㎡

調査原因：耕作

主な時代：古墳(6世紀後半)

畑の下に眠っている古墳です。推定される墳丘規模は直径約7mで、長軸約3.1m、短軸約1.4mの墓坑があります。令和4年に約25㎡の発掘調査が行われ、表土と耕作土から、縄文土器の破片4点、土師器の破片2点、須恵器の破片1点、叩石1点が出土しました。

1973年に刊行された『郡山市史』第8巻に、大善寺古墳群の箱式石棺と鉄鏃・骨鏃(二ホンジカの骨の矢じり)の写真があり、「大善寺石切場古墳」という項目で1972年に箱式石棺の調査が行われ、人骨の出土と錆びた鉄の痕が検出されたとの解説がありました。そのため、郡山市史に掲載されている古墳に当たる可能性があります。



大善寺8号墳主体部・周溝検出状況(西側より)



大善寺8号墳主体部検出状況(北側より)



大善寺8号墳出土骨鏃(6点)・骨鏃集合(5点)・叩石(1点)
(1972年の発掘調査で出土)
「大善寺古墳群—2号墳・8号墳試掘調査報告書—」より加筆修正